

介護職員等処遇改善加算に係る情報公開（見える化要件）について

〈見える化要件とは〉

「見える化要件」とは、介護職員等処遇改善加算の取得にあたり、職員に対する賃金改善以外の処遇に関する具体的な取組み内容を、法人ホームページ等を活用して公開する制度です。

〈加算の取得状況〉

事業所名	サービス名	加算区分
特別養護老人ホーム高喜苑	介護老人福祉施設サービス	介護職員等処遇改善加算Ⅰロ
	短期入所生活介護	介護職員等処遇改善加算Ⅰロ
	介護予防短期入所生活介護	介護職員等処遇改善加算Ⅰロ
武岡台デイサービスセンター	通所介護	介護職員等処遇改善加算Ⅰロ
	通所型サービス（独自）	介護職員等処遇改善加算Ⅰロ
なでしこ訪問看護ステーション	訪問看護	介護職員等処遇改善加算
	介護予防訪問看護	介護職員等処遇改善加算
ホームヘルプステーション高喜苑	訪問介護	介護職員等処遇改善加算Ⅰロ
	訪問型サービス（独自）	介護職員等処遇改善加算Ⅰロ
	訪問型サービス（独自/定率）	介護職員等処遇改善加算Ⅱロ
済生会サポートセンターなでしこ	定期巡回・随時訪問対応型訪問介護看護	介護職員等処遇改善加算Ⅰロ
指定居宅介護支援センター高喜苑	居宅介護支援	介護職員等処遇改善加算
グループホーム武岡ハイランド	認知症対応型共同生活介護	介護職員等処遇改善加算Ⅰロ
	介護予防認知症対応型共同生活介護	介護職員等処遇改善加算Ⅰロ

〈当センターの取組み〉

	職場環境要件	当センターの取組み
入職促進に向けた取組	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みを構築③	勤務シフトや時間を考慮し、主婦や子育て世代、60歳以上の方などを幅広く採用している。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組を実施④	中高生の職場体験の受入れ、武岡台コミュニティ協議会主催の介護教室に講師として参加している。
資質の向上や キャリアアップに 向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等⑤	喀痰吸引研修及びサービス提供責任者研修の受講に係る費用について、当センターが負担し、個々のスキルアップを支援している。
	研修受講やキャリア段位制度と人事考課との連動⑥	研修受講に単位制度を導入。取得した単位を人事考課の査定に考慮し、賞与等に反映させている。
両立支援・ 多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備⑨	育児・介護休業等の休業制度を就業規則にて整備している。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備⑩	毎年キャリアシートにて職員個々の状況を把握し、人事異動や非常勤・準職員から正職員への転換を行っている。
腰痛を含む 心身の健康管理	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実⑬	産業医等を相談窓口として設置し、相談できる体制を整えている。
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施⑭	全職員に対して健康診断・ストレスチェックを実施している。

	職場環境要件	当センターの取組み
生産性向上のための 業務改善の取組	厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等）を行っている ^⑰	センター全体で生産性向上委員会を設置し、月 1 回程度会議を開催している。業務内容の見直しや効率化等について検討し、継続的な業務改善に取り組んでいる。
	介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入 ^⑱	介護ソフトを活用し、手書きによる介護記録や報告書の作成を廃止することで、職員の作業負担の軽減に努めている。また、社用携帯をスマートフォン化し、迅速な情報共有と業務の効率化に取り組んでいる。
	介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資する ICT 機器（ビジネスチャットツール含む）の導入 ^㉒	タブレット端末やインカムを活用して利用者情報を共有し、業務量の縮減に努めている。
やりがい・ 働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 ^㉕	毎月スタッフ会議を実施し、職場内コミュニケーションを図り、業務改善やケアの質の向上に繋げている。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施 ^㉖	中高生の職場体験の受入れ、武岡台コミュニティ協議会主催の介護教室に講師として参加している。